

平成 30 年度第 2 回高知県運輸業女性活躍推進実行委員会  
議 事 要 旨

日 時：平成 30 年 8 月 2 日（木）14 時～15 時 30 分

場 所：こうち男女共同参画センター「ソーレ」視聴覚室

1 開会

2 報告事項

- (1) 高知県運輸業女性活躍推進委託業務について  
企画内容の説明

[各委員等からの意見]

◆松山委員（一般社団法人 高知県バス協会）

- ・ イベント時の運転体験は、自動車学校の車両を使うのか？  
実際のバス会社の車両等を使用することもできるのか？

→事務局回答：実際のバス会社の車両等を使って運転体験をすることは、事故発生時の保険・補償の観点から難しい。実際の車両を持ち込んで展示することについては、イベント会場となる自動車学校に確認が必要。

◆森委員（高知労働局 職業安定部訓練室）

- ・ 労働局には、既に、運輸業の就職について相談できるコーナーがある。
- ・ イベントや運輸業の魅力発信に関する PR についての協力は可能。

◆西村委員（一般社団法人 高知県トラック協会）

- ・ まず、イベントに来てもらうことが大事なのではないか？県が実施する広報は時期的に企画に間に合わないのではないか？

→事務局回答：県の実施する広報のうち、「さん SUN 高知」は 9 月中旬から順次配布予定で、イベント開催の PR ができる。一方、「おはようこうち」は実際に行ったイベントの紹介を放送するもの。

◆中島委員（株式会社 なかじま企画事務所）

- ・女性が、ポスターやチラシといった広報によって、「高知県の運輸業は女性を求めている」ということに気付くことが大事。「女性ドライバー募集！」などストレートに分かるような広告にする必要がある。はっきりと明確にわかるキャッチコピーがいる。
- ・まずは、女性ドライバーという職種があることを知ってもらうことが大切。

◆岩井委員（高知家の女性しごと応援室）

- ・チラシは目を惹くようなキャッチコピーが大事。
- ・先日行ったイベントでの「再就職セミナー」については、チラシをたくさん配ったが、人集めに苦戦した。ただ「働きたい方募集」のチラシだと効果がない。

◆吉田委員（NPO 法人キャリア・ライフ高知）

- ・運輸業の魅力をPRするためには、キャッチコピーが大事。
- ・動画でのPRはインパクトがあるので、効果的であると思われる。

◆上戸委員（国土交通省四国運輸局）

- ・四国運輸局のHP等でも、イベントや運輸業の魅力発信のPRに協力できると思う。Web ページは、色々なところにリンクを貼る等して露出度をあげるべき。

◆小田副会長（こうち男女共同参画社会づくり財団）

- ・イベント時、現役の女性乗務員の方との座談会やフリートークの際に乗務員の方の魅力を引き出すためには、司会者等との事前の打ち合わせが重要である。
  - ・託児サービスは1名で対応できるか？何人もの子どもを1人で見るのは厳しいのでは。
- 事務局回答：予約制なので、人数によって増員して対応する。

◆中嶋アドバイザー（一般社団法人 女性バス運転手協会）

- ・運輸業のやりがいをしっかり伝えることが大事。
- ・イベントにおいて、リアルなバスの使用は保険等の問題があるのではないかと。実際持ち込んで見学できるような形をとる方が良い。（松山委員の質問に対して）
- ・Web ページ作成において、SEO 対策はしているのか。予算内でできることはした方が良い。Web ページが検索上位に上がってくるのには2～3ヶ月かかるが、イベントまでに間に合うのか。

→事務局回答：SEO対策はする予定。WebページのURLを、県のホームページ等にもリンクを貼ってもらうことで、露出度を上げていきたい。

- ・イベントのブース出展は、三方囲まないとプライベートな相談ができない。(人事系の相談は三方囲うのが基本)
- ・座談会で男性に見られている中、女性が本音のトークができるのか？運輸業は、基本、男性社会の仕事なので、会場に男性が多いと話しづらいので女性限定にする配慮が必要。
- ・イベント告知のチラシ配布はハローワークのみでなく、求人フリーペーパーなどにも掲載した方が良い。求職者がよく見るものに掲載する方が効果的。人材系の媒体でないと求職者がくる確立が減る。

→事務局回答：予算のこともあるのですべてを改善することは難しいかもしれないが、できる限り対応していく。

## (2) 中嶋アドバイザーから「ドライバーの採用」に関する情報提供

- ・事業者は説明会にどんどん参加して、PRをしていくべき。しっかり自社のプレゼンテーションをして、ドライバー志望者へアピールしていくことが必要。何度も出るうちにプレゼンテーションも上手くなる。
- ・バス利用者のうち、高齢者や障害者には、女性ドライバーを求める方が多い。
- ・あるバス会社が、女性を対象に見学ツアーを行ったところ、参加者9名中6名の方がドライバー採用試験に応募してきた。実際にどのような仕事か知ってもらうことで、仕事の選択肢に入る。

## 2 協議事項

### (1) 平成31年度に向けた事業の検討について

[各委員等からの意見]

#### ◆西村委員（一般社団法人 高知県トラック協会）

- ・高知県トラック協会では、免許取得の助成や学校訪問等により、ドライバーの掘り起こしを図っている。免許の助成は毎年40~60人、計500万円ほどの助成を行っている。学校訪問はすぐ目に見えて成果が出るわけではないが、長期的に見て、雇用につながると思っている。

◆松山委員（一般社団法人 高知県バス協会）

- ・日本バス協会でも、免許取得に関する助成は行っており、ドライバーや企業の負担を軽減できるようにしている。

◆濱田会長（高知県交通運輸政策課）

- ・免許取得にかかる費用は、初期投資の金額としては、やはり大きな負担になると思われる。業種は異なるが、看護師等の職業でも、県では奨学金の支援等の制度もある。
- ・免許の支援制度を自社でできるところは良いが、そういったことができないところへどんな支援ができるが課題。

◆廣田委員（四国運輸局高知運輸支局）

- ・学校の進路指導では生徒本人から希望がない限り運輸業の仕事を勧めることはなく、運輸業が就職の選択肢に入っていないことが多い。
- ・職業選択は幼いころの体験がきっかけになることが多いので、子どもに向けてアプローチすることも必要。どう接触していくのかは非常に難しいが、うまくアプローチすることができれば、選択肢の中に入ってくるのでは。

◆中島委員（株式会社 なかじま企画事務所）

- ・現状と課題の「女性がドライバーとして働くことができる、ということが認知されていない」という、この書き方が良くない。「女性にも運転手になってほしい」と書くべき。
- ・タクシーやバスの数が減って、地方の方が不便になってきているが、高齢者が免許を返すなら、タクシーやバスが必要になる。こういった状況で、公共交通の必要性、重要性をアピールすることで、「公共交通がなくなったら困る」という面もPRするべき。
- ・高知県では高校卒業前に免許を取ることが多い。免許を持っていた方が就職に有利と考えられている。給料がもっと良ければ、就職の選択肢になるのではないか。

◆柴山課長（国土交通省四国運輸局）

- ・広報について、具体的にドライバーとして就職をしたい人が対象なのか、又は幅広く見てもらいたいのかを明確にすべき。
- ・給料面なのか、環境面なのか等、求職者が何を悩んでいるのかを知る必要がある。国が実施している女性ドライバーの方に対するアンケートも活用して、取り組めば良い。

以上

出席状況

	所属・職・氏名	出席者
会 長	高知県中山間振興・交通部 交通運輸政策課長 濱 田 憲 司	○
副会長	こうち男女共同参画社会づくり財団 事務局長 小 田 優	○
委 員	一般社団法人高知県バス協会 専務理事 松 山 明 夫	○
委 員	一般社団法人高知県トラック協会 事務局長 西 村 伸 矢	○
委 員	高知県ハイヤー・タクシー協議会 専務理事 岡 村 泰 明	○
委 員	高知家の女性しごと応援室 チーフ 岩 井 契 子	○
委 員	国土交通省四国運輸局 高知運輸支局 首席運輸企画専門官（総務企画観光部門） 上 戸 康 弘	○
委 員	国土交通省四国運輸局 高知運輸支局 首席運輸企画専門官（輸送・監査部門） 廣 田 敦	○
委 員	厚生労働省高知労働局 職業安定部訓練室 室長補佐 森 郁 雄	○
委 員	株式会社 なかじま企画事務所 代表取締役 中 島 和 代	○
委 員	NPO法人 キャリア・ライフ高知 キャリア・コンサルタント 吉 田 亜 矢 子	○
アドバイザー	一般社団法人 女性バス運転手協会 代表理事 中 嶋 美 恵	○
オブザーバー	国土交通省四国運輸局 交通政策部 交通企画課長 柴 山 和 広	○